



作品を見るだけじゃない アーツ前橋を100倍楽しむ方法

平成25年に商業施設を用途変更し改装オープンしたアーツ前橋。本紙でも企画展の情報などをお知らせしています。今回はワカモノ記者がさまざまなアーツ前橋の楽しみ方を紹介します。

担当は、遠藤敦美・桑原利光
☎ アーツ前橋 ☎ 027-230-1144

アーツ前橋のコンセプトは「創造的であること」、「みんなで共有すること」、「そして「対話的であること」」。この3つのコンセプトを基に、これまで地域アートプロジェクトや衣食住などをテーマとした展覧会を開催しています。

ショップやカフェも充実

アーツ前橋は美術館。ですが、ミュージアムショップやカフェも充実しています。ミュージアムショップ mina は季節に応じた商品や福祉施設で作られた商品が取りそろえられ、手仕事で作られた物の良さや発想のユニークさを感じることが出来ます。また、カフェ・ロブソンコーヒーには、さまざまな香りや味わいの豆があり、コーヒーになじみがない人でも楽しめます。



商業施設の名残が残る個性的な外観

内装には萩原朔太郎の『青猫』をモチーフにした作品が描かれ、アートと食事を一緒に楽しむことができるのもアーツ前橋ならではの魅力。魅力的なのは無料で無線LANが利用できること。アートに関する雑誌や書籍、過去の展覧会の図録なども読むことができ、アートが好きな人はもちろん、アート初心者にもお勧めです。

コーヒー片手にアートに触れる

このカフェでは、現在開催中の展覧会「フードスケープ 私たちは食べものでできている」に関連したメニューも提供。食をテーマに活動するアーティスト、ジル・スタツサーさんによる作品『わたしたちそのものをたべる』も味わえます。本紙10月15日号4ページには展覧会のクーポンも付いているので、ぜひ活用してみてください。

自分に合った活動でサポート

利用者としてだけでなくサポーターとしての関わり方も。アーツ前橋には、プロジェクトのサポーターや会報の発送などを担当するサポーター制度があります。現在、アーツ前橋で

展覧会の監視員をしている平戸萌さんは、サポーターとしてもアーツ前橋に関わっています。活動する中で、より深く作品を理解したいと思うようになったそう。それぞれが自分に合ったことに取り組めるので、個人の興味や特技が生かれます。サポーターは随時募集中とのこと。関心のある人は問い合わせしてみてください。

楽しみ方は人それぞれ

アートと聞くと、難しく感じる人もいるかもしれませんが、でも、カフェ

エヤショップが充実していて、自由に楽しめるのがアーツ前橋。開館時間は午前11時から午後7時までで、展示室1階は無料で鑑賞できるので、学校や仕事帰りに立ち寄りやすいのもうれしいところです。休日は展示を見てカフェでランチして、ミュージアムショップでおしゃれなアートグッズをチェックしたり、気になるアーティストについて調べたりするのもお勧め。この冬は、友達や家族とアーツ前橋を丸ごと楽しんでみませんか。



01. 図録を見ながらコーヒーブレイク
02. 「サポーターの経験で世界が広がりました」と平戸さん
03. 館内を案内してくれたアーツ前橋の辺見さん
04. ユニークなグッズが並ぶミュージアムショップ

編集後記

魅力たくさんのアーツ前橋。これからは、アートを楽しむ場として利用したいです。
(遠藤)



ショップにカフェに、いっそのこと、作品を鑑賞しないで楽しんでやってもいいかも。
(桑原)



店舗情報

■カフェ・ロブソンコーヒー

自家焙煎スペシャルティコーヒーショップ。旬のコーヒーとパティシエの作るおいしいスイーツが楽しめます。
営業時間=月~土曜、午前11時~午後8時(水曜・年末年始を除く。日曜は午後7時まで)
問い合わせ=☎027-233-3005

■ミュージアムショップ・mina

全国各地のアトリエからチャームングでカラフルなアートグッズを集めたミュージアムショップです。
営業時間=午前11時~午後7時(水曜・年末年始を除く)
問い合わせ=☎027-289-8094

